

# Special Feature

特集

## 老健施設における ポリファーマシー

高齢者の多剤服用（ポリファーマシー）に対する医薬品の適正使用は、健康管理はもとより医療・介護財政の面からも重要な取り組みである。2019年度の介護報酬改定では、老健施設における減薬に対する「かかりつけ医連携薬剤調整加算」が新設。2021年度の改定では加算要件が細分化され、多様化していることから、ポリファーマシー対策は医療・介護全体の大きな課題となっている。

本特集では、全老健でも推奨している高齢者薬剤管理システム「楽くすり」の活用方法と、実際に現場で実践されているポリファーマシー対策への取り組みについて紹介し、老健施設における減薬の現状および課題を考察する。



### インタビュー

## 老健施設のポリファーマシー対策を Webシステムからのアプローチで推進

大川政利さん  
株式会社レゾナ 代表取締役



### レポート

## 施設をあげて減薬に取り組み 「かかりつけ医連携薬剤調整加算」 算定に結びつける

介護老人保健施設ナーシングプラザ港北（神奈川県）